



山梨大学保健管理センター紀要 第 1 4 号

平成 2 8 年度

山梨大学保健管理センター

巻 頭 言

「山梨大学保健管理センター紀要第 14 号」をお届けします。

センターの研究・学会などの学術活動をはじめ、甲府、医学部両キャンパスでの年間の主要な業務ならびに保健管理活動、そしてセンターの組織体制を皆さんに知っていただくべくまとめました。是非ご覧いただき、センターの業務内容を正しくご理解いただくとともに、皆さん全員のためのセンターであることを再認識していただいて、これまで以上に積極的にセンターを活用していただきたく思います。

私たちセンタースタッフは皆さんの身体的健康状態の解析により健康維持あるいは医療介入、そして軽重はあるかもしれませんが、精神的加重による学生、職員の精神面へのサポート（いわゆるメンタルサポート）をもっとも重要な使命と考えています。また「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉がありますように、身体の健康と健全な精神は常に一体であるとの観点から、「大学教職員の喫煙とメンタル問診所見との関連」に関しての研究など、肉体的健康と精神的健康に関するアカデミックな研究活動も展開しています。

さて、「労働安全衛生法」が改正され「ストレスチェック義務化」が加わりました。これは労働者が 50 人以上いる事業所では、2015 年 12 月から、毎年 1 回、ストレスに関する質問票（選択回答）に労働者が回答し、それを集計・分析することで、労働者自身が自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査です。この検査を全ての労働者（契約期間が 1 年未満の労働者や、労働時間が通常の労働者の所定労働時間の 4 分の 3 未満の短時間労働者は義務の対象外です）に対して実施することが義務付けられました。2016 年 11 月までには必ず施行しなければなりません。センターでは施行に向け準備してまいりましたが、すべての皆さんのご協力なくしては実施不可能です。この制度の根底にある考えは、労働者が自分自身のストレスの状態を知ること、ストレスをためすぎないように自身で対処したり、ストレスが高い状態と判断された場合には医師の面接を受けて医療的な援助を受けたり、さらには管理者に業務量の軽減などの措置を指示し職場の環境改善につなげたりすることで、いわゆる「抑うつ状態」などのメンタルヘルス不調を未然に防止するための仕組みで、すべて皆さんのためのものです。

センターにとってはかなりの業務負担になりますが、センターの重要な使命の一つであります学生、職員の精神面へのサポートという観点からも有効活用を目指します。皆様方の全面的なご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月

山梨大学保健管理センター

センター長 藤井秀樹

目 次

巻頭言	藤井秀樹
-----	------

I.研究・学会活動

論文

大学教職員の飲酒習慣とメンタル問診項目との関連	和泉恵子他	2
研究活動（平成 27 年度）		9

II.主要業務

平成 2 7 年度年間主要業務	11
平成 2 7 年度開催セミナー及び各種実技等、参加者総数（甲府キャンパス）	12

III.保健管理活動（甲府キャンパス）

1. 相談活動	14
2. 学生定期健康診断	18
3. 職員定期健康診断	21
4. 臨時健康診断	22
5. 救護関係	23

IV.保健管理活動（医学部キャンパス）

1. 相談活動	25
2. 学生定期健康診断	28
3. 職員定期健康診断	31
4. 救護関係	32

V.保健管理センターの現況

1. 沿革	34
2. 保健管理センターの組織（平成 27 年度）	38
3. 関係規則	
山梨大学保健管理センター細則	39
山梨大学保健管理センター運営委員会要項	41
山梨大学保健仮センター専任教員選考委員会要項	43
4. 保健管理センター運営委員	44
5. 保健管理センター職員	45

I . 研究・学会活動

論 文

研究活動

大学教職員の飲酒習慣とメンタル所見との関連

和泉恵子¹⁾ 中込裕美¹⁾ 守屋圭子¹⁾ 篠原学¹⁾ 高山一郎¹⁾

1) 山梨大学保健管理センター

【目的】

教職員の健康管理において、飲酒等の問診や心身の自覚症状の問診は、健康診断後の保健指導を実施するにあたり、重要である。飲酒と身体疾患との関連研究は多くみられる^{1) 2)}が、労働者を対象とした飲酒習慣とメンタル所見との関連はあまり明らかにされていない。

そこで、飲酒習慣とメンタル所見の関連を明らかにすることにより、心理面からのアプローチも根拠あるデータとして示し、節度ある適度な飲酒習慣の保健指導を実施するうえでの基礎資料を得ることとした。

【対象と方法】

対象は、A キャンパス、B キャンパス（附属病院職員を含む）2 キャンパスの職員である。2015 年に職員定期健康診断の問診を入力した職員のうち、欠損値を除き、研究参加に拒否の意思を示した者を除く 2,085 名（男性 888 名 女性 1,197 名）とした。

問診の嗜好品についての飲酒の項目「飲まない」を有、「飲む」を無とメンタル所見 20 項目（表 1）の「ない」を無、「ときどきある」「ほとんどいつもある」を有として χ^2 検定を実施した。有意水準 $p < 0.05$ として評価した。

【倫理的配慮】

本研究は、山梨大学医学部倫理委員会の承認（平成 28 年 8 月 3 日承認、受付番号 1522）を受けて実施した。取り扱う個人データについては、個人が特定できないように配慮してデータを処理した。

研究内容の公開文書を研究対象者に学内イントラネットの掲示板に提示することで、説明を行い、研究対象者の自由意思により研究参加への拒否ができる旨を伝え、拒否は口頭で申し出てもらうよう提示した。対象者の氏名、生年月日、問診情報等の得られたデータは、連結可能な匿名化を行い、集計された結果を用いてデータ解析を行った。

表1 メンタル問診 20 項目

1. 気分が沈んで憂鬱なことがありますか（憂うつ）
2. 朝方が一番気分が良いですか（朝の気分）
3. 泣いたり、泣きたくなることがありますか（泣きたくなる）
4. 夜よく眠れないほうですか（夜眠れない）
5. 食欲は普通ですか（食欲）
6. 最近やせてきたと感じますか（痩せてきた）
7. 便秘をしていますか（便秘）
8. 下痢をしていますか（下痢）
9. ふだんよりも動悸がすることがありますか（動悸）
10. 何となく疲れることがありますか（倦怠感）
11. いつもさっぱりした気持ちですか（爽快感）
12. いつもとかわりなく仕事をやれていますか（通常業務ができる）
13. 落ち着かずじっとしていられないことがありますか（落ち着かない）
14. 将来に希望はありますか（将来の希望）
15. いつもよりいらいらしていると感じますか（いらいら）
16. たやすく決断できるほうですか（たやすく決断できる）
17. 役に立つ、働ける人間だと思いますか（役に立つ人）
18. 生活は充実していますか（生活の充実感）
19. 自分は死んだほうが他のものは楽に暮らせると思うことがありますか（死んだ方が楽）
20. 日頃していることに満足していますか（日常に満足）

【結果】

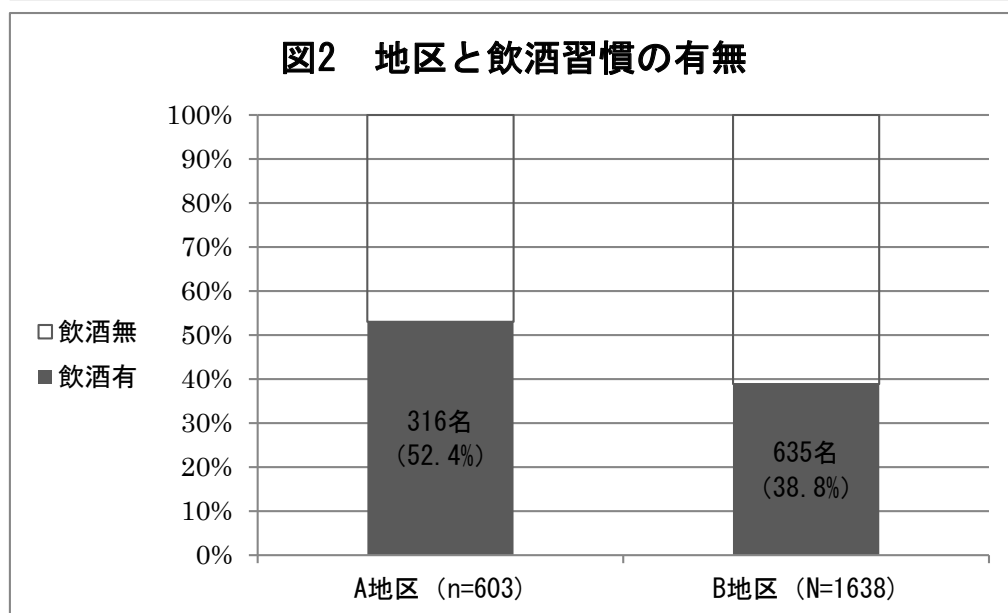
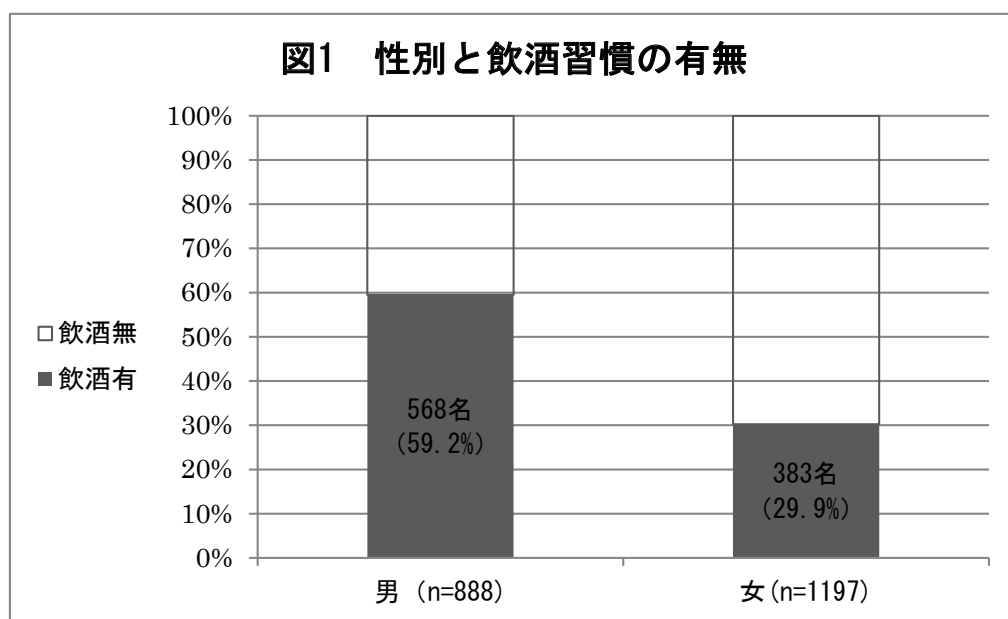
対象者の基本属性は表 2 のとおりである。

表2 基本属性

A キャンパス	562 名 (27.0%)
B キャンパス（附属病院を含む）	1,523 名 (73.0%)
男性	888 名 (42.6%) 42.6±11.2 才 (20～71 才)
女性	1197 名 (57.4%) 37.3±10.6 才 (21～64 才)

飲酒習慣有と回答したのは、890 名 (42.7%)、飲酒習慣無と回答したのは 1,195 名 (57.3%) であった。

男女別 (図 1) では、男性の方が飲酒習慣有の者が有意に多かった (男性 528/888 名 (59.5%)、女性 362/1197 名 (30.2%) $p<0.001$)。



地区別（図 2）では、A キャンパスの方が飲酒習慣有の者が有意に多かった（A キャンパス職員 298/562 名（53.2%）、B キャンパス（医学部附属病院を含む）職員は 592/1523 名（38.9%） $p<0.001$ ）。

対象者のメンタル所見のみの状況は図 3 のとおりである。

メンタル問診所見のうち飲酒有の者に有意に「有」との回答が多かったのは下記の項目である。（表 3）

「朝方は一番気分が良いですか（朝の気分はよい）」（飲酒有 403/890 名（45.3%） 飲酒無 463/1195 名（38.8%） $p<0.01$ ）

「下痢をしていますか」（飲酒有 152/890 名（17.1%） 飲酒無 162/1195 名（13.6%） $p<0.05$ ）

「いつもさっぱりした気持ちですか」（飲酒有 729/890 名（81.9%） 飲酒無 933/1195 名（78.1%） $p < 0.05$ ）

「落ち着かずじっとしてられないことがありますか」（飲酒有 174/890 名（19.6%） 飲酒無 176/1195 名（14.7%） $p < 0.01$ ）

「たやすく決断できるほうですか」（飲酒有 714/890 名（80.2%） 飲酒無 840/1195 名（70.3%） $p < 0.001$ ）

「役に立つ、働ける人間だと思いますか」（飲酒有 752/890 名（84.5%） 飲酒無 935/1195 名（78.2%） $p < 0.001$ ）

逆に、飲酒無の者に「有」との回答が有意に高かった項目は下記のとおりである。

「泣いたり、泣きたくなることがありますか」（飲酒有 154/890 名（17.3%） 飲酒無 248/1195 名（20.8%） $p < 0.05$ ）

「便秘をしていますか」（飲酒有 126/890 名（14.2%） 飲酒無 264/1195 名（22.1%） $p < 0.001$ ）

図3 メンタル問診所見集計（n=2085）



表3 飲酒習慣の有無別 メンタル問診所見毎の比較(n=2085)

	憂うつ (ns)		朝の気分はよい (p<0.01)		泣きたくなる (p<0.05)	
	有	無	はい	いいえ	有	無
飲酒無(n=1195)	365 (33.1%)	800 (67.0%)	463 (38.7%)	732 (61.3%)	248 (20.7%)	947 (79.3%)
飲酒有(n= 890)	299 (33.6%)	591 (66.4%)	403 (45.3%)	487 (54.7%)	154 (17.3%)	736 (82.7%)

	眠れない(ns)		食欲はふつう(ns)		痩せてきた(ns)	
	有	無	有	無	はい	いいえ
飲酒無(n=1195)	248 (20.7%)	947 (79.3%)	1063 (89.0%)	132 (11.0%)	55 (4.6%)	1140 (95.4%)
飲酒有(n= 890)	154 (17.3%)	736 (82.7%)	780 (87.6%)	110 (12.4%)	40 (4.5%)	850 (95.5%)

	便秘 (p<0.001)		下痢 (p<0.05)		動悸(ns)	
	有	無	有	無	有	無
飲酒無(n=1195)	264 (22.1%)	931 (77.9%)	162 (13.6%)	1033 (86.4%)	103 (8.6%)	1092 (91.4%)
飲酒有(n= 890)	126 (14.2%)	764 (85.8%)	152 (17.1%)	738 (82.9%)	78 (8.8%)	812 (91.3%)

	倦怠感(ns)		爽快感 (p<0.05)		通常業務ができる(ns)	
	有	無	有	無	有	無
飲酒無(n=1195)	678 (56.7%)	517 (43.3%)	933 (78.1%)	262 (21.9%)	1118 (93.6%)	77 (6.4%)
飲酒有(n= 890)	501 (56.3%)	389 (43.7%)	729 (81.9%)	161 (18.1%)	838 (94.2%)	52 (5.8%)

	落ち着かない(p<0.01)		将来の希望(ns)		イライラする(ns)	
	有	無	有	無	有	無
飲酒無(n=1195)	176 (14.7%)	1019 (85.3%)	1012 (84.7%)	183 (15.3%)	421 (35.2%)	774 (64.7%)
飲酒有(n= 890)	174 (19.6%)	716 (80.5%)	771 (86.6%)	119 (13.4%)	347 (39.0%)	543 (61.0%)

	たやすく決断できる (p<0.001)		役に立つ人間だ (p<0.001)		生活の充実感(ns)	
	有	無	有	無	有	無
飲酒無(n=1195)	840 (70.3%)	355 (29.7%)	935 (78.2%)	260 (21.7%)	1086 (90.9%)	109 (9.1%)
飲酒有(n= 890)	714 (80.2%)	176 (19.8%)	752 (84.5%)	138 (15.5%)	816 (91.7%)	74 (8.3%)

	死んだ方が楽(ns)		日常に満足(ns)	
	有	無	有	無
飲酒無(n=1195)	99 (8.3%)	1096 (91.7%)	1026 (85.9%)	169 (14.4%)
飲酒有(n= 890)	72 (8.1%)	818 (91.9%)	790 (88.8%)	100 (11.2%)

【考察】

酒は百役の長とも言われ、古来より生活や文化に親しまれてきている。一方、アルコールが関連する肝疾患、がん等の報告³⁾や依存症⁴⁾などの問題も明らかにされている。

わが国の男性を対象とした研究では、平均して2日に日本酒に換算して1合（純アルコールで約20g）程度飲酒する者が、死亡率が最も低いとする報告がされている⁵⁾。

厚生労働省では、健康日本21において、「1日に平均純アルコールで約60gを越え多量に飲酒する人の減少」「未成年者の飲酒をなくす」「節度ある適切な飲酒としては、1日平均純アルコールで約20g程度である旨の知識を普及する」を目標に掲げている。

本研究は、飲酒習慣の有無の調査であり、飲酒量については確認していないが、飲酒習慣のある者の傾向としては、飲酒習慣がない者よりも「朝は気分がよく、いつもさっぱりした気持ちで、泣きたくなくなることもない、また、物事をたやすく決断でき、役に立つ働ける人間だと思っているが、落ち着かない」と「便秘はなく、下痢傾向である」ということが明らかになった。

アルコール自体の浸透圧が高いため、アルコール常飲者には、消化管吸収障害がよくみられ、下痢をきたしやすい⁷⁾ことは、本研究でも同様であった。

また、アルコールと運転の集中力や注意力の研究においては、アルコールの影響は強いと報告されており⁶⁾、本研究での落ち着かないや物事をたやすく決断できる傾向は、アルコールが影響を与える集中力や注意力の低下によるものと思われる。

わが国で利用されている代表的な酩酊分類のBinderの分類⁸⁾によれば、単純酩酊、異常酩酊とに分類され、異常酩酊は複雑酩酊と病的酩酊に分類されている。単純酩酊では、血中アルコール濃度が20～40mg/dlでは爽快期「気分さわやか、活発な態度」、50～100 mg/dlではほろ酔い期「ほろ酔い気分、動きが活発になる」、110～150 mg/dlでは酩酊初期「気が大きくなる、立つとふらつく」、160～300 mg/dlでは酩酊極期「歩行障害、同じ話の繰り返し」、310～400 mg/dlでは泥酔期「起立困難、言語減裂、意識が不明瞭」、400 mg/dl以上では昏睡期「昏睡状態、尿失禁、呼吸停止、死亡」とされている。

本研究で明らかになった「朝は気分がよく、いつもさっぱりした気持ちで、泣きたくなくなることもない、また、物事をたやすく決断でき、役に立つ働ける人間だと思っているが、落ち着かない」は、血中アルコール濃度が150mg/dl未満の爽快期、ほろ酔い期、酩酊初期に相当していると思われる。

本研究から、飲酒習慣のあるものは、比較的良好なメンタル状態であることが示唆された。

今後は、飲酒量の把握やさらに信頼性の高い心理尺度を用いたより詳細なデータの検討をする必要があると思われる。

【文献】

- 1) U. S Department of Health and Human Service. Ninth special report to the U. S. congress

- on alcohol and health from the secretary of health and human services. National Institute of Health, 1997
- 2) Anderson P , Cremona A , Paton A , et al. The risk of alcohol. Addiction 88:1493-1508, 1993
 - 3) World Cancer Research Fund, American Institute for Cancer Research . Food nutrition and prevention of cancer: a global perspective. American Institute for Cancer Research, 1997
 - 4) American Psychiatric Association. Diagnostic and statistical manual of mental disorders, 4th edition . APA, 1994
 - 5) Tsugane S, Fahey MT , Sasaki S, et al. Alcohol consumption and all-cause and cancer mortality among middle-aged Japanese men: seven year follow-up of the JPHC study cohort I. Am J EPIDEMIOL 150:1201-7, 1999
 - 6) Ogden, E. J. D. and Moskowitz, H. : Effect of alcohol and other drugs on driver performance. Traffic Inj. Prev., 5:185-198, 2004
 - 7) 伴信太郎他監修・吉本尚他編集：ぼくらのアルコール診療 シチュエーション別困ったときの対処法 1 (1) : アルコールによる健康障害 2-14, 2005
 - 8) Binder H: "überalkoholische Rauschzustände". Schweiz. Arch NeuroPsychiat 25:209-228, 36:17-51, 1935 (影山任佐訳・解説：精神医学 24: 855-866, 999-1007, 1982)

研 究 活 動 (平成 27 年度)

(2015 年 4 月～2016 年 3 月)

<論文>

伊藤美佳, 杉山崇

いじめの起きにくい学級風土づくりの試み-「よっちゃばれタイム」プログラムの実践-

山梨大学教育人間科学部附属教育実践センター紀要, 21,161-173, 2016

和泉恵子, 中込裕美, 守屋圭子, 篠原学, 高山一郎

大学教職員の喫煙状況と敷地内禁煙等に関する意識調査

山梨大学保健管理センター紀要, 13, 3-8, 2015

<学会・研修会>

伊藤美佳

日本認知・行動療法学会第 41 回大会

2015.10 宮城

日本ピアサポート学会第 14 回総会・研究会

2015.10 埼玉

中込裕美

第 18 回フィジカルヘルス・フォーラム

2016.3 石川

守屋圭子

第 53 回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会

2015.7 東京

和泉恵子, 宮村季浩

大学教職員の喫煙状況と敷地内禁煙等に関する意識調査

第 74 回日本公衆衛生学会総会

2015.11 長崎

和泉恵子, 中込裕美, 守屋圭子, 宮村季浩, 篠原学, 高山一郎

医学部入学者の風疹抗体価の比較-1995 年度生まれ前後の比較-

第 53 回全国大学保健管理研究集会

2015.9 岩手

和泉恵子

第 53 回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会

2015.7 東京

II. 主要業務

平成27年度 年間主要業務

月	甲府キャンパス	医学部キャンパス
4月	保健管理センターのしおり発行 新入生ガイダンス 学生定期健康診断 新入生研修 学生健康診断証明書自動発行開始 学生定期健康診断（再検査） 入学式救護	新2年次生医学部キャンパスガイダンス 学生定期健康診断(看護学科編入生・在来生、大学院生) 新入職員研修 学生 麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎抗体検査 新入職員ツベルクリン反応検査 学生1回目B型肝炎ワクチン接種 職員麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎抗体検査
5月	ツベルクリン反応検査 ストレスマネジメントセミナー	学生定期健康診断（再検査） 学生2回目B型肝炎ワクチン接種 学生麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス予防接種 新入職員ツベルクリン反応検査 職員深夜業務従事者
6月	工学部編入学入試救護 有害業務調査 臨時健康診断（体育水泳集中講義前） ムンプスワクチン接種 所内会議 アサーションセミナー リラクゼーションセミナー ヨガ実技	職員深夜業務従事者再検査 職員1回目B型肝炎ワクチン接種 学生麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス予防接種 職員有機溶剤使用者健康診断 職員麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス予防接種
7月	有害業務調査 大学院医工学工学領域博士課程（前期募集）入試救護 放送大学単位認定試験救護 骨密度測定（職員） 風疹・水痘・麻疹ワクチン接種 保健管理センター運営委員会 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会参加 ヨガ実技	職員有機溶剤使用者健康診断再検査 職員2回目B型肝炎ワクチン接種 医学領域先進医療科学専攻・生体制御学専攻(博士課程)入試救護 職員麻疹・MR・風疹・水痘・ムンプス予防接種 所内会議 保健管理センター運営委員会 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会参加
8月	オープンキャンパス救護	医学部オープンキャンパス救護
9月	特別支援教育特別専攻科(前期募集) 入試救護 全国大学保健管理研究集会参加 職員定期健康診断/特殊健康診断（職員）	看護学科3年次編入学入試救護
10月	職員定期健康診断 特殊健康診断（学生） 10月入学者健康診断 大学院教育学研究科入試救護 AO入試救護 教職員対象研修会 保健管理センター紀要発行 大学院医農学総合教育部修士課程（前期募集）入試救護	職員定期健康診断(血液検査・ABC検診) 職員定期健康診断 (身体・血圧・視力・聴力・尿・胸部X-P・ECG) 職員定期健康診断(大腸がん検診) 学生3回目B型肝炎ワクチン接種 慰霊式救護 医学祭救護 看護学専攻(修士課程)入試救護 ヒューマンヘルスケア学専攻(博士課程)入試救護
11月	職員インフルエンザ予防接種 職員定期健康診断事後フォロー 職員胃検診 学園祭・オープンキャンパス救護 教育人間科学部・工学部推薦入試救護 学生6ヶ月後再検査	学生インフルエンザ予防接種（希望者） 職員インフルエンザ予防接種 看護学科推薦選抜入試救護
12月	学生6ヶ月後再検査 大学院医学工学総合教育部博士課程（後期募集）入試救護 職員定期健康診断事後フォロー 所内会議	職員3回目B型肝炎ワクチン接種 学生B型肝炎・麻疹・風疹・水痘・ムンプス接種後抗体検査 職員定期健康診断再検査
1月	放送大学単位認定試験救護 大学院医工農学総合教育部修士課程（後期募集）入試救護 私費外国人留学生特別選抜（教育人間科学部・工学部）入試救護 特別支援教育特別専攻科（後期募集）入試救護 大学入試センター試験救護	職員B型肝炎・麻疹・風疹・水痘・ムンプス接種後抗体検査 医学科4年生CTB救護 看護学科一般選抜入試(前期日程)救護
2月	個別学力試験（前期日程）救護 個別学力試験（前期日程）（名古屋会場）救護 個別学力試験（前期日程）（東京会場）救護 臨時健康診断（体育スキー集中講義前） 特殊健康診断	医学科推薦選抜入試救護
3月	特殊健康診断事後フォロー 所内会議 個別学力試験（後期日程）救護 職員定期健康診断6ヵ月後フォロー	看護学科一般選抜入試(後期日程)救護 卒業式救護

通年 健康相談・応急処置

平成 27 年度開催セミナー及び各種実技等、参加者総数（甲府キャンパス）

【学生対象セミナー】

1. ストレスマネジメントセミナー	5/18	9 名
2. アサーションセミナー	6/ 2	6 名
3. リラクゼーション（ヨガ）セミナー	6/ 8	6 名

【実技】

1. 前期ヨガ実技	6/15, 22, 29 7/13	延べ 3 1 名
2. 後期ヨガ実技	11/9, 16, 30 12/14	延べ 3 5 名

【教職員対象研修会】

「青年期の危機といかに向き合うか 自殺予防の基礎知識」 10 月 9 日 9 3 名

Ⅲ. 保健管理活動 (甲府キャンパス)

1. 相談活動

1) 相談件数（甲府）

月 項目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
		学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
健康相談（医師・看護職）		53	11	61	15	132	19	94	19	11	9	12	17	69	19	70	23	51	16	57	17	44	31	17	28	671	224	895
心理相談（臨床心理士）		137	35	116	29	110	36	119	31	36	30	55	40	87	41	90	50	71	54	73	47	64	41	32	36	990	470	1460

のべ人数

*心理相談の職員対応件数は、学生の保護者対応も含む

相談	3	1	12	0	10	0	9	1	1	2	0	3	7	1	4	3	7	2	5	0	5	2	0	4	63	19	82
後投	10	2	19	2	45	4	23	4	2	2	0	4	27	6	32	3	8	3	14	3	7	5	5	2	192	40	232
の検	3	0	6	1	32	2	16	1	1	3	2	1	8	1	10	4	11	2	16	1	8	2	1	2	114	20	134
措置	29	1	4	0	7	6	3	2	1	0	1	11	2	27	1	12	5	2	1	4	2	5	0	2	56	72	128

健康診断証明書発行枚数	92	0	66	0	65	1	27	0	22	0	31	0	61	0	32	0	10	0	6	0	4	0	262	2	678	3	681
-------------	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	---	---	---	---	-----	---	-----	---	-----

*自動発行機の平成27年度の健康診断証明書枚数 1,930枚

のべ人数

のべ人数

3)心理相談内訳（甲府）

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族
健診窓口	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修学・進路	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	0	0	2	0	0	6	1	0
心理・適応	37	2	0	58	2	0	69	1	1	66	2	0	15	2	0	29	3	0
精神・身体	18	0	0	23	1	0	27	3	0	31	3	0	15	1	0	14	2	0
その他	23	24	9	20	20	6	10	27	4	8	23	3	4	25	2	6	33	1
W.S	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	137	26	9	116	23	6	110	31	5	119	28	3	36	28	2	55	39	1

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			小計			合計
	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	学生	職員	家族	
健診窓口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	55
修学・進路	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	1	0	4	1	0	5	0	0	41	4	0	45
心理・適応	52	6	0	53	4	0	44	6	0	41	7	0	38	6	0	19	9	0	521	50	1	572
精神・身体	18	3	0	21	5	0	14	5	0	17	6	0	11	4	0	6	9	0	215	42	0	257
その他	5	31	1	8	37	4	7	36	6	2	27	6	6	26	4	2	14	4	101	323	50	474
W.S	12	0	0	8	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0	57	0	0	57
合計	87	40	1	90	46	4	71	48	6	73	41	6	64	37	4	32	32	4	990	419	51	1,460

1) 精神・身体:専門医受診者 2) W.S :ワークショップ等

4)医療機関紹介内訳(甲府)

のべ人数

月 項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
内科	23	0	3	0	4	2	1	1	0	0	0	4	2	26	1	12	4	2	1	4	1	2	0	2	40	55	95
外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
整形外科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	1	4
皮膚科	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
眼科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3
耳鼻咽喉科	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4	6
歯科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
精神科	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5
その他	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
合計	29	1	4	0	7	6	3	2	1	0	1	11	2	27	1	12	6	2	1	4	1	5	0	2	56	72	128

2. 学生定期健康診断

1) 平成27年度 学生定期健康診断および健康・体力測定 受診項目(甲府)

	形態 測定	尿検査	血圧	視力	胸部X線	内科	抗体検査	問診1 ³⁾	問診2 ⁴⁾	健康・体力測定 ⁵⁾
学部1年	○	○	○	○	○	○	○ ²⁾	○	△	○
学部2年	○	○	○	○	○ ¹⁾	△	×	○	△	△
学部3年	○	○	○	○	○	△	×	○	△	△
学部4年	○	○	○	○	○	△	×	○	△	△
大学院1年	○	○	○	○	○	○	×	○	△	×
大学院2年以上	○	○	○	○	○	△	×	○	△	×

○：必要

△：指示されたもの

×

：不要

1) 胸部X線

工学部2年生・生命環境学部2年生は希望者のみ実施

2) 抗体検査

教育人間科学部1年生および医学部1年生のみが対象

3) 問診1

看護職が問診を実施し、再検査の指示や相談に応じる

4) 問診2

看護職の問診後、指示のあった者に対し、臨床心理士が相談に応じる

5) 健康・体力測定 教育人間科学部の保健体育専修と健康スポーツコースが主体となり実施する体力診断テスト

2) 平成27年度 学生定期健康診断受診率(甲府)

		定期健康診断		
		対象者	受診者	受診率
学部1年次	教育人間科学部	155	155	100.0%
	工学部	392	391	99.7%
	生命環境学部	150	150	100.0%
	医学部	192	186	96.9%
	計	889	882	99.2%
学部2年次	教育人間科学部	151	147	97.4%
	工学部	386	324	83.9%
	生命環境学部	143	136	95.1%
	計	680	607	89.3%
学部3年次	教育人間科学部	152	150	98.7%
	工学部	401	361	90.0%
	生命環境学部	131	112	85.5%
	計	684	623	91.1%
学部4年次 以上	教育人間科学部	185	147	79.5%
	工学部	530	422	79.6%
	生命環境学部	141	132	93.6%
	計	856	701	81.9%
大学院	教育学研究科1年	38	37	97.4%
	教育学研究科2年以上	33	18	54.5%
	医学工学総合教育部（修士課程）1年	185	179	96.8%
	医学工学総合教育部（修士課程）2年以上	221	199	90.0%
	医学工学総合教育部（3年博士課程）	90	37	41.1%
	計	567	470	82.9%
専攻科		17	17	100.0%
合計（研究生他を除く）		3693	3300	89.4%
研究生他		51	5	9.8%
総合計		3744	3305	88.3%

3)平成27年度 学生定期健康診断事後フォロー状況(甲府)

学生 定期健康診断受診者数

3305 名

<胸部X線検査>

胸部X線検査者数	3082	93.3%			
	異常なし	3054	99.1%		
	経過観察	22	0.7%		
	要精査	6	0.2%		
				精査後異常なし	2 33.3%
				経過観察	3 50.0%
				要医療	0 0.0%
				受診結果待ち	1 16.7%
				不明	0 0.0%

<尿検査>

再検査実施者数	227	6.9%			
	異常なし	206	90.7%		
	要精査	21	9.3%		
				精査後異常なし	2 9.5%
				経過観察	8 38.1%
				要医療	0 0.0%
				受診結果待ち	9 42.9%
				治療中	2 9.5%

<血圧>

血圧再検査者数	263	8.0%		
	異常なし	197	74.9%	
	経過観察	64	24.3%	
	要精査	2	0.8%	

<再問診>

再問診実施者数	89	2.7%		
	異常なし	0	0.0%	
	経過観察	33	37.1%	
	医療機関紹介	27	30.3%	
	治療中	25	28.1%	

3. 職員定期健康診断

<職員定期健康診断受診項目>

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1) 身長・体重・血圧 | 9) 聴力検査 |
| 2) 視力検査 | 10) 心電図検査 |
| 3) 尿検査 | 11) 腹囲測定 |
| 4) 肝機能検査 | 12) 便潜血反応検査 |
| 5) 貧血検査 | 13) 胃検診（X線間接撮影） |
| 6) 糖尿病検査 | |
| 7) 血中脂質検査 | |
| 8) 胸部X線検査 | |

平成27年度 職員健康診断検査項目別 受診集計（甲府）

定期健康診断		対象者	受診者	受診率
9月15日, 16日, 17日	合 計	842	722	85.7%
9月18日, 24日, 10月5日				

検査項目	実施日	対象者	受診者	受診率	有所見者数	有所見率
心電図検査	9月15～18日, 24日, 10月5日	606	436	71.9%	67	15.4%
胃検診（X線間接撮影）	11月18日, 25日, 30日	842	98	11.6%	29	29.6%
胸部X線直接撮影	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	583	69.2%	19	3.3%
血圧測定	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	617	73.3%	137	22.2%
聴力検査	9月15～18日, 24日, 10月5日	489	333	68.1%	19	5.7%
尿検査	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	608	72.2%	15	2.5%
血液検査（脂質）	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	619	73.5%	372	60.1%
血液検査（貧血）	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	619	73.5%	29	4.7%
血液検査（血糖）	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	619	73.5%	267	43.1%
血液検査（肝機能）	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	619	73.5%	152	24.6%
腹囲測定	9月15～18日, 24日, 10月5日	606	427	70.5%		0
便潜血反応検査	9月15～18日, 24日, 10月5日	842	270	32.1%	12	4.4%

*心電図は40歳以上と35歳の者および希望者

*聴力検査は45歳以上の者と40歳35歳の者および希望者

*胃検診および便潜血反応検査は希望者

*腹囲測定は40歳以上と35歳

4. 臨時健康診断

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などのため、臨時の健康診断を実施している。

臨時健康診断は、あらかじめ、看護職が問診票による問診を行い、所見があった場合には、医師が診察を実施している。

実施年月日	団 体 名	人数	実 施 目 的
平成27年6月1日，2日，4日，5日	体育学教室	48	体育学科水泳集中講義
平成28年2月8日～10日	体育学教室	71	体育学科水泳集中講義
	(計)	119	

5. 救護関係

1) 入学試験関係(甲府)

日 程	入 学 試 験	救護者数
平成27年6月13日	工学部特別編入学入試	0
平成27年7月11日	大学院医学工学総合教育部博士課程（工学領域 前期募集）入試	0
平成27年9月4日	特別支援教育特別専攻科（前期募集）入試	0
平成27年10月3日	工学部A0入試（普通高校）	0
平成27年10月10日	大学院教育学研究科修士課程および大学院医工農学総合教育部修士課程（工学専攻）入試	0
平成27年10月24日	大学院医工農学総合教育部修士課程（生命環境学専攻）入試	0
平成27年11月21日	教育人間科学部および工学部推入試、工学部専門高校・総合学科特別推薦入試	0
平成27年12月12日	大学院医学工学総合教育部博士課程（工学領域 後期募集）および（医学工学融合領域 後期募集）入試	0
平成28年1月9日	大学院医工農学総合教育部修士課程（工学専攻後期募集）および（生命環境学専攻後期募集）入試	0
平成28年1月17日～18日	大学入試センター試験	5
平成28年1月21日	特別支援教育特別専攻科入試（後期募集）	0
平成28年1月30日	工学部私費外国人留学生特別選抜入試および大学院教育学研究科修士課程（2次募集）入試	0
平成28年2月25日	山梨大学個別学力検査（前期日程）	3
平成28年2月25日	山梨大学個別学力検査（前期日程）（名古屋会場）	0
平成28年2月25日	山梨大学個別学力検査（前期日程）（東京会場）	0
平成28年3月12日	山梨大学個別学力検査（後期日程）	0

2) その他(甲府)

平成27年4月7日	山梨大学入学式	0
平成27年7月24日, 28日～30日	放送大学単位認定試験（1学期）	0
平成27年8月8日	山梨大学オープンキャンパス	0
平成27年10月31日, 11月1日	梨甲祭	6
平成28年1月22日, 26日～28日	放送大学単位認定試験（2学期）	0

IV. 保健管理活動 (医学部キャンパス)

1. 相談活動

1) 相談件数(医学部)

のべ人数

月 項目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
		学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
健康相談		12	52	12	46	13	56	6	44	5	40	13	44	14	63	10	55	4	67	16	63	7	67	3	51	115	648	763
メンタル		2	2	0	3	3	3	0	3	0	4	1	11	5	12	3	17	11	16	3	9	3	11	2	10	33	101	134

相談後の措置	ベッド休養	0	0	1	0	3	0	1	1	0	0	4	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	12	3	15
	投薬	5	13	1	10	4	13	0	14	1	7	4	17	2	16	5	17	4	27	5	16	2	26	2	17	35	193
	検査	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	6	4	
	医療機関紹介	8	33	9	28	7	36	5	24	4	26	6	24	11	43	6	38	4	37	12	43	6	38	2	36	80	406
																											486

健康診断証明書発行枚数	0	0	0	0	0	45	0	43	0	11	0	4	6	5	0	0	1	0	3	0	9	0	1	0	122	6	128
-------------	---	---	---	---	---	----	---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	-----

2)健康相談内訳(医学部)

月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計	
		学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員		
内科	呼吸器症状（感冒症状、咽頭痛等）	1	11	0	9	2	7	1	4	1	7	2	16	0	11	3	11	0	17	4	10	1	8	1	12	16	123	139	
	消化器系症状（下痢、腹痛、胃痛等）	0	6	0	3	1	6	0	4	1	5	0	5	0	0	2	3	0	4	0	5	0	6	0	5	4	52	56	
	発熱	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	4	0	5	0	3	5	15	20	
	頭痛	1	5	0	8	0	5	0	6	0	5	1	0	1	6	0	4	0	5	0	4	0	3	0	3	3	54	57	
	他	1	4	1	3	3	6	1	0	0	5	3	3	1	4	0	3	0	5	2	10	1	9	0	5	13	57	70	
計		4	26	2	23	7	24	2	14	2	22	7	24	2	21	6	24	0	31	6	33	2	31	1	28	41	301	342	
外科	打撲・捻挫・突き	1	1	0	0	0	2	1	2	0	2	0	2	1	3	1	1	1	3	0	0	2	1	1	0	8	17	25	
	筋・関節痛	1	5	2	6	1	5	1	6	0	4	0	7	4	9	1	1	1	7	3	8	2	8	0	4	16	70	86	
	創傷	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	5	8	
	他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	7	8	
	計	3	6	2	7	2	7	2	8	0	6	0	10	6	15	3	2	2	11	3	10	4	11	1	6	28	99	127	
婦人科	月経随伴症状	1	1	0	1	1	4	0	2	1	0	3	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	9	11	20
	他	0	2	1	2	0	4	0	1	0	1	0	3	0	2	0	0	0	5	0	3	0	8	0	5	1	36	37	
	計	1	3	1	3	1	8	0	3	1	1	3	3	2	2	1	1	0	6	0	4	0	8	0	5	10	47	57	
皮膚科	皮膚炎等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	3	4	
	火（熱）傷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	その他	0	4	2	7	0	6	0	8	1	1	1	0	2	8	0	3	0	4	2	2	0	2	1	4	9	49	58	
	計	0	5	2	7	0	6	0	9	1	2	1	0	2	8	0	3	0	6	3	2	0	2	1	4	10	54	64	
	メンタル	2	2	0	3	3	3	0	3	0	4	1	11	5	12	3	17	11	16	3	9	3	11	2	10	33	101	134	
その他		4	12	5	6	3	11	2	10	1	9	2	7	2	17	0	25	2	13	4	14	1	15	0	8	26	147	173	
合 計		14	54	12	49	16	59	6	47	5	44	14	55	19	75	13	72	15	83	19	72	10	78	5	61	148	749	897	

3) 医療機関紹介内訳(医学部)

のべ人数

月 項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
内科	1	7	3	6	2	5	0	3	1	9	3	4	1	6	0	4	0	6	3	12	1	9	1	5	16	76	92
外科	2		0	0	0	1	0	1	0	1		0	0	4	0	4	0	2	0	8	0	1	0	3	2	19	21
整形外科	1	5	2	6	1	4	1	4	0	3	0	6	6	7	2	2	2	6	2	0	3	5	1	3	21	51	72
皮膚科	0	5	0	7	1	5	0	8	2	2	1	0	2	6	0	4	0	3	3	4	0	4	0	6	9	50	59
眼科	1	6	2	0	0	4	2	1	0	2	1	4	0	4	0	3	0	5	0	5	0	1	0	3	6	33	39
耳鼻咽喉科	1	3	1	2	1	3	0	2	0	3	0	3	0	5	2	5	0	1	1	2	0	2	0	3	6	32	38
歯科	0	2	0	4	0	1	1	2	0	3	0	2	1	5	0	4	1	1	3	3	1	4	0	1	7	29	36
婦人科	0	1	1	2	1	6	0	1	0	1	0	3	0	2	1	7	0	6	0	4	0	8	0	5	3	42	45
脳外科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6	7
泌尿器科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	10	10
精神科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
その他	1	0	0	1	1	6	1	0	1	0	1	1	1	2	1	4	0	3	0	4	1	1	0	6	8	24	32
合計	8	33	9	28	7	36	5	24	4	26	6	24	11	43	6	38	4	37	12	43	6	38	2	36	80	406	486

2. 学生定期健康診断

1) 平成27年度 学生定期健康診断および健康・体力測定 受診項目(医学部)

	形態測定	尿検査	血圧	胸部X線	内科	血液検査
学部1年	甲府キャンパスにて健康診断実施					
学部2年	○	○	○	○	—	○
学部3年	○	○	○	○	—	△
学部4年	○	○	○	○	—	△
学部5年	○	○	○	○	—	△
学部6年	○	○	○	○	—	△
大学院1年	○	○	○	○	—	×
大学院2年以上	○	○	○	○	—	×

○：必要

△：指示されたもの

×：不要

—：未実施

2) 平成27年度 学生定期健康診断受診率（医学部）

			定期健康診断		
			対象者	受診者	受診率
学部2年次	医学部	医学科	137	118	86.1%
		看護学科	63	59	93.7%
		計	200	177	88.5%
学部3年次	医学部	医学科	137	111	81.0%
		看護学科	65	60	92.3%
		計	202	171	84.7%
学部4年次	医学部	医学科	121	99	81.8%
		看護学科	68	67	98.5%
		計	189	166	87.8%
学部5年次	医学部	医学科	122	109	89.3%
学部6年次	医学部	医学科	126	94	74.6%
学部合計			839	717	85.5%
大学院			244	29	11.9%
合計			1083	746	68.9%

3)平成27年度 学生定期健康診断事後フォロー状況(医学部)

学生 定期健康診断受診者数 746名

<胸部X線検査>

胸部X線検査者数	744 (99.7%)		
	異常なし	744 (100.0%)	
	経過観察	0 (0.0%)	
	要精検	0 (0.0%)	
		精査後治療あり	0 (0.0%)
		経過観察	0 (0.0%)

<尿検査>

再検査実施者数	27 (3.6%)		
	異常なし	24 (88.8%)	
	早朝尿実施者数	1 (3.7%)	
		早朝尿異常なし	1 (100.0%)
		経過観察	0 (0.0%)
		治療中	0 (0.0%)

<血圧>

血圧再検査者数	6 (0.8%)		
	問題なし	3 (50.0%)	
	経過観察	3 (50.0%)	

3. 職員定期健康診断

<職員定期健康診断受診項目>

- 1) 身長・体重・血圧測定・視力
- 2) 視力検査
- 3) 尿検査
- 4) 肝機能検査
- 5) 貧血検査
- 6) 糖尿病検査
- 7) 血中脂質検査
- 8) 胸部X線検査

平成27年度 職員健康診断検査項目別 受診集計（医学部）

定期健康診断		対象者	受診者	受診率	H26年度 受験率	昨年度比
10月1日～10月31日	合計	1754	1683	96.0%	96.0%	0.0%

検査項目	実施日	対象者	受診者	受診率	H26年度 受験率	昨年度比	有所見者数	有所見率
心電図検査	10月8～11・15・16日	992	757	76.3%	78.8%	-2.5%	230	30.4%
胃検診（ABC検診）	10月1日～31日	318	318	100.0%	100.0%	0.0%	37	11.6%
胸部X線間接撮影	10月7～10・14・15日	1754	1473	84.0%	83.3%	0.7%	87	5.9%
血圧測定	10月7～10・14・15日	1754	1515	86.4%	85.2%	1.2%	129	8.5%
聴力検査	10月7～10・14・15日	899	742	82.5%	84.5%	-2.0%	41	5.5%
尿検査	10月7～10・14・15日	1754	1442	82.2%	82.7%	-0.5%	64	4.4%
血液検査（脂質）	10月1日～31日	1754	1582	90.2%	90.2%	0.0%	440	27.8%
血液検査（貧血）	10月1日～31日	1754	1582	90.2%	90.2%	0.0%	43	2.7%
血液検査（血糖）	10月1日～31日	1754	1582	90.2%	90.2%	0.0%	53	3.4%
血液検査（肝機能）	10月1日～31日	1754	1582	90.2%	90.2%	0.0%	121	7.6%
腹囲測定	10月7～10・14・15日	883	755	85.5%	77.4%	8.1%		
喀痰細胞検査	10月10・15日	10	4	40.0%	53.3%	-13.3%	0	0.0%
便潜血反応検査	10月1～10月15日	491	432	88.0%	91.9%	-3.9%	8	1.9%

*聴力検査は35歳・40歳及び45歳以上の職員ならびに希望者

*心電図は40歳以上の職員ならびに希望者

*胃検診40歳以上の希望者

*便潜血反応検査は希望者

*腹囲測定は40歳以上の職員並びに希望者

4. 救護関係

(1) 入学試験関係

日程	入学試験	救護者数
平成27年7月23日	大学院：先進医療科学専攻・生体制御学専攻入試	0
平成27年7月22日	大学院：医学領域・生体環境学コース	0
平成27年9月9日	看護学科3年次編入試	0
平成27年10月29日	大学院：看護学領域・ヒューマンヘルスケア学専攻	0
平成27年11月21日	看護学科推薦選抜入試	0
平成28年2月9日	医学科推薦選抜入試	0
平成28年2月25日	看護学科一般選抜入試(前期日程)	0
平成28年3月15日	看護学科一般選抜入試(後期日程)	0

(2) その他

平成27年8月5・6日	医学部オープンキャンパス	0
平成27年10月28日	慰霊式	0
平成27年10月23・24・25日	医学祭	2
平成28年1月12・13日, 2月26日	共用試験医学系CBT試験	0

V. 保健管理センターの現況

沿 革
組 織
関係規則
委 員
職 員

1. 沿革

平成 14 年 10 月	旧山梨大学と旧山梨医科大学の統合に伴い、 旧山梨大学保健管理センターを、保健管理センター 旧山梨医科大学保健管理センターを、玉穂地区保健センターに 名称変更 医学部神庭重信教授が保健管理センター所長兼任
平成 16 年 4 月	教育人間科学部山口勝弘教授がセンター長兼任
平成 19 年 4 月	医学部山縣然太郎教授がセンター長兼任
平成 23 年 7 月	保健管理センター（甲府キャンパス）内に 学生メンタルサポート室設置
平成 24 年 8 月	保健管理センター（甲府キャンパス）改修 2 階
平成 25 年 4 月	医学部本橋伸高教授が保健管理センター長兼任
平成 26 年 6 月	保健管理センター（甲府キャンパス）耐震等改修工事のため B-1 号 館へ移転
平成 27 年 1 月	保健管理センター（甲府キャンパス）耐震等改修工事完了
平成 27 年 3 月	山梨大学保健管理センター細則、山梨大学保健管理センター運営委 員会要項、山梨大学保健管理センター専任教員選考委員会要項制定
平成 27 年 4 月	藤井秀樹理事（医療）、病院長がセンター長兼任 下間康行理事（総務・労務）が副センター長兼任 堀 哲夫理事（教学・国際交流）が副センター長兼任
平成 28 年 7 月	吉田 靖理事（総務・労務）が副センター長兼任

沿革（参考 旧山梨大学）

昭和 44 年 4 月 山梨大学保健管理センター設置
(国立学校設置法施行規則、昭和 44 年文部省令第 18 号、RC2 階 246 m²)

昭和 44 年 4 月～昭和 45 年 12 月
藤田由夫学長が保健管理センター所長事務取扱

昭和 44 年 12 月 山梨大学保健管理センター規則、山梨大学保健管理センター運営委員会
規則及び山梨大学保健管理センター専任教官選考委員会規則制定

昭和 45 年 8 月 保健管理センター専任教官として穂積登助教授が発令

昭和 46 年 1 月～昭和 47 年 12 月
教育学部松岡武教授が保健管理センター所長併任

昭和 48 年 1 月～昭和 48 年 3 月
曾根徳順学生部長が保健管理センター所長事務取扱

昭和 48 年 4 月～昭和 50 年 3 月
教育学部中沢敬止教授が保健管理センター所長併任

昭和 50 年 4 月～昭和 52 年 3 月
教育学部服部治則教授が保健管理センター所長併任

昭和 52 年 4 月～昭和 54 年 3 月
工学部田中健太郎教授が保健管理センター所長併任

昭和 54 年 4 月～昭和 56 年 3 月
教育学部西平直喜教授が保健管理センター所長併任

昭和 55 年 4 月 保健管理センター増築（教官室、相談室、図書室兼会議室として 153 m²）

昭和 56 年 4 月～昭和 58 年 3 月
工学部加賀美元男教授が保健管理センター所長併任

昭和 57 年 3 月 保健管理センター規程改正

昭和 58 年 4 月～昭和 60 年 3 月

教育学部桐生良夫教授が保健管理センター所長併任

昭和 60 年 4 月～平成 5 年 3 月

保健管理センター松井紀和教授が保健管理センター所長

平成 5 年 4 月～平成 7 年 3 月

教育学部今井貞夫教授が保健管理センター所長併任

平成 7 年 4 月 保健管理センター運営委員会規程 改正

平成 7 年 4 月～平成 9 年 3 月

教育学部堀田裕教授が保健管理センター所長併任

平成 9 年 4 月～平成 13 年 3 月

保健管理センター五味義夫教授が保健管理センター所長

平成 9 年 4 月 厚生課保健係看護婦 2 名が保健管理センター専任看護婦に配置換え

平成 10 年 10 月 保健管理センター看護婦 2 名が保健管理センター保健婦と発令

平成 11 年 4 月 保健管理センター運営委員会規程改正

平成 12 年 3 月 保健管理センター規程改正

平成 12 年 9 月～12 月 保健管理センター改修（1 階）

平成 13 年 4 月～平成 14 年 9 月

教育人間科学部八木博教授が保健管理センター所長併任

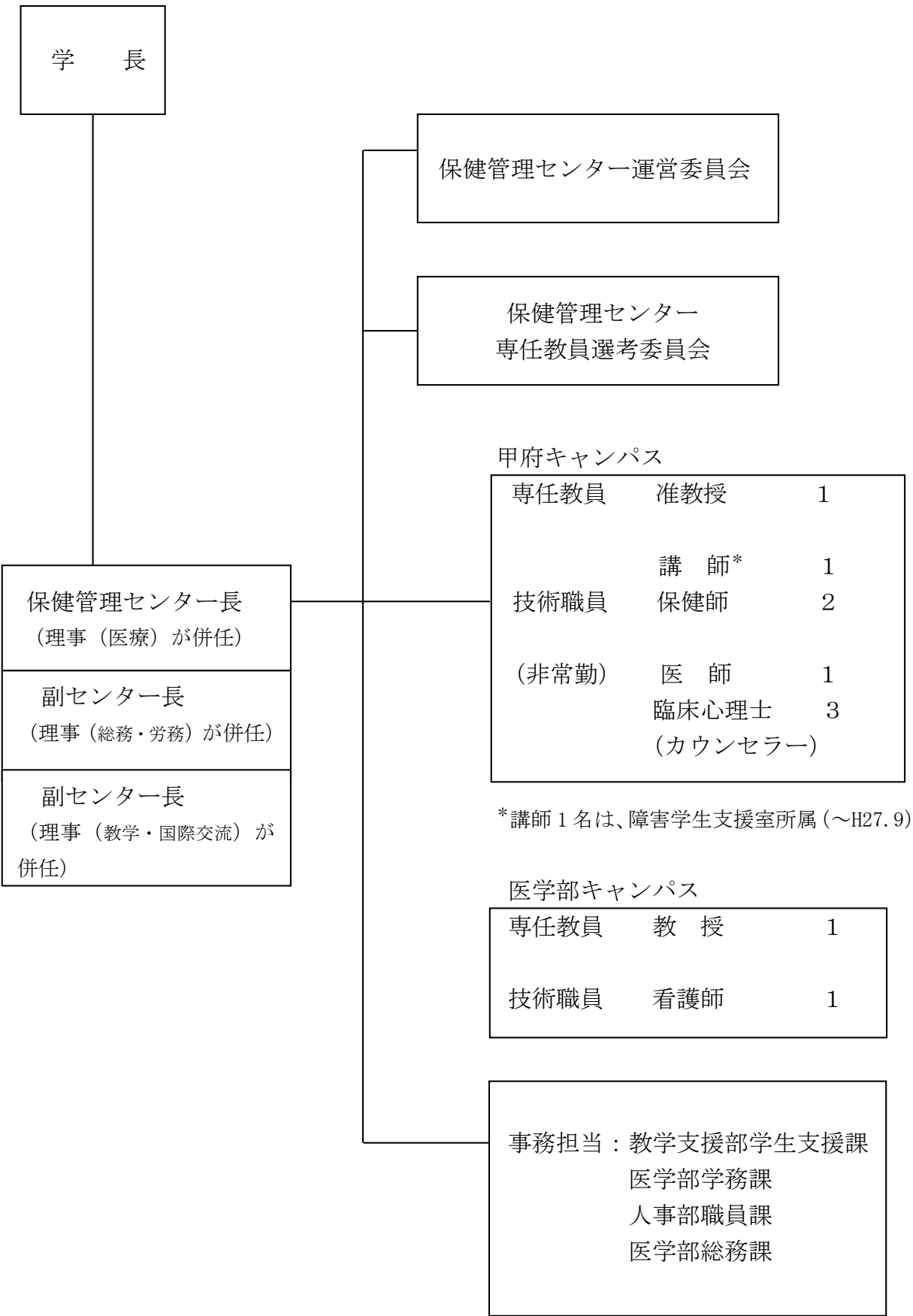
沿革（参考 旧山梨医科大学）

平成 10 年 4 月 保健管理センター設置
 専任教官発令
 専任看護婦発令

平成 10 年 6 月～平成 14 年 3 月
 医学科藤野雅之教授が保健管理センター所長併任

平成 14 年 4 月～平成 14 年 9 月
 医学科神庭重信教授が保健管理センター所長併任

2. 保健管理センターの組織（平成 27 年度）



3. 関係規則

○山梨大学保健管理センター細則

制定 平成27年 3月27日

(趣旨)

第1条 この細則は、国立大学法人山梨大学基本規則第39条第2項の規定に基づき、山梨大学保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、山梨大学（以下「本学」という。）の保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 保健管理に係る企画及び立案に関すること。
- (2) 定期及び臨時の健康診断の実施に関すること。
- (3) 健康診断の事後措置等健康の保持・増進について必要な指導に関すること。
- (4) 身体的、精神的健康相談及び指導に関すること。
- (5) 学内の環境衛生及び感染症の予防についての指導援助に関すること。
- (6) 学生及び職員に対する健康、衛生等に係る教育に関すること。
- (7) 保健管理における調査・研究に関すること。
- (8) 労働安全衛生への協力に関すること。
- (9) その他第2条の目的を達成するために必要な専門的業務に関すること。

(組織)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長（学生担当）
- (3) 副センター長（職員担当）
- (4) 専任教員
- (5) 医療職員
- (6) その他必要な職員

(センター長)

第5条 センター長は、本学の理事（医療担当）をもって充て、センターの業務を総括掌理する。

(副センター長)

第6条 副センター長（学生担当）は、本学の理事（教学担当）をもって充て、学生の心身の健康の保持・増進に係るセンター業務を掌理する。

2 副センター長（職員担当）は、本学の理事（労務担当）をもって充て、職員の心身の健康の保持・増進に係るセンター業務を掌理する。

(運営委員会)

第7条 センターの円滑な運営を図るため、山梨大学保健管理センター運営委員会を置く。

2 前項の委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(専任教員選考委員会)

第8条 センターの専任教員の人事に関する事項を審議するため、山梨大学保健管理センター専任教員選考委員会を置く。

2 前項の委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(玉穂地区保健センター)

第9条 センターに、玉穂地区保健センターを置き、第3条に定める業務を分掌する。

(学生メンタルサポート室)

第10条 第3条第4号のうち、学生に対する精神的健康に関する業務を円滑に処理するため、学生メンタルサポート室を置く。

2 学生メンタルサポート室に室長を置き、センターの専任教員の中からセンター長が指名する。

3 学生メンタルサポート室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 精神的健康の保持増進を図るための諸活動

(2) 精神的問題等に対する相談活動及びカウンセリング

(3) 精神的問題等の解決のための調整

(庶務)

第11条 センターの庶務は、第3条の業務に応じて教学支援部学生支援課、医学部学務課、総務部人事課、及び医学部総務課で処理する。

(雑則)

第12条 この細則に定めるもののほか、保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。

2 山梨大学保健管理センター規程（平成16年4月1日制定）は廃止する。

○ 山梨大学保健管理センター運営委員会要項

制定 平成27年 3月27日

(趣旨)

第1条 この要項は、山梨大学保健管理センター細則（以下「センター細則」という。）第7条第2項の規定に基づき、山梨大学保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、山梨大学保健管理センター（以下「センター」という。）の円滑な管理・運営を図るため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学生及び職員の健康の保持増進に関する事項
- (2) センターの予算に関する事項
- (3) センターに関する規則等の制定・改廃に関する事項
- (4) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長（学生担当）
- (3) 副センター長（職員担当）
- (4) 各学域から選出された教授又は准教授 各2名
- (5) センターに所属する専任教員
- (6) センターに所属する医療職員 1名
- (7) 総務部長
- (8) 教学支援部長

2 前項第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(雑則)

第7条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教学支援部学生支援課及び医学部学務課で処理する。ただし、センター細則第3条第8号に定めることについては、総務部人事課、及び医学部総務課と連携して行う。

附 則

- 1 この要項は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 山梨大学保健管理センター運営委員会規程(平成16年4月1日制定)は廃止する。

○ 山梨大学保健管理センター専任教員選考委員会要項

制定 平成27年 3月27日

(趣旨)

第1条 この要項は、山梨大学保健管理センター細則第8条第2項の規定に基づき、山梨大学保健管理センター専任教員選考委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、山梨大学保健管理センター専任教員の選考等人事に関する事項を審議する。

(選考)

第3条 専任教員の選考は、委員会の議に基づき学長が行う。

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 保健管理センター長
- (2) 副センター長（学生担当）
- (3) 副センター長（職員担当）
- (4) 各学域長
- (5) 各学域教授 各2人

2 委員会に委員長を置き、保健管理センター長をもって充てる。

3 第1項第5号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

3 委員会の審議は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教学支援部学生支援課で処理する。

附 則

1 この要項は、平成27年4月1日から施行する。

2 山梨大学保健管理センター専任教員選考委員会規程（平成16年4月1日制定）は廃止する。

4. 保健管理センター運営委員会委員

(平成27年度)

名称	職名	氏名	所属
委員長	保健管理センター長	藤井 秀樹	保健管理センター
委員	教育人間科学部 教授	廣瀬 信雄	障害児教育コース
	〃 准教授	志村 結美	生活社会教育コース
	医 学 部 准教授	石原 裕	内科学講座第2教室
	〃 准教授	端 晶彦	医療福祉支援センター
	工 学 部 教授	郷 健太郎	コンピュータ理工学科
	〃 准教授	鳥山 孝司	機械工学科
	生命環境学部 准教授	山下 裕之	地域食物科学科
	〃 准教授	野田 悟子	生命工学科
	副センター長	下間 康行	
	副センター長	堀 哲夫	
	保健管理センター教授	高山 一郎	
	〃 准教授	篠原 学	
	〃 医療職員	中込 裕美	
	人事部長	中村 幸人	
	教学支援部長	清水 博人	

5. 保健管理センター職員（平成 27 年度）

保健管理センター長・理事（医療担当）・附属病院長	藤井 秀樹
副センター長・理事（労務担当）	下間 康行
副センター長・理事（教学担当）	堀 哲夫

甲府キャンパス

准教授（専任）	医師	篠原 学
講師（専任）（障害学生支援室所属～H27.9）		
	臨床心理士	伊藤 美佳
医療職員（専任）	保健師	中込 裕美
医療職員（専任）	保健師	和泉 恵子

医学部キャンパス

教授（専任）	医師	高山 一郎
医療職員（専任）	看護師	守屋 圭子

非常勤

医師	井上 利男
臨床心理士	小野 ゆり
臨床心理士	百瀬 裕三
臨床心理士	工藤 智子
臨床心理士	杉山 崇

学生支援課

学生支援課長	仙洞田 潤
係長	有泉 等

医学部学務課

学務課長	渡邊 公彦
------	-------

人事部職員課

係長	野田 優子
----	-------

医学部総務課

総務課長	丸山さとみ
福利担当	伏見恵理香